

八王子国際フレンドからのメッセージ



韓国



プロフィール

名前；柳 羅英（リュウ ナヨン）

出身地；韓国の全羅南道

来日；2005年3月30日

趣味；映画鑑賞、料理

職業；大学生

自己紹介と日本での暮らし紹介

はじめまして、韓国から参りました柳 羅英（リュウ ナヨン）と申します。

2005年3月30日韓国から日本の東京に来ています。出身地は韓国の南の方の「全羅南道」というところです。私は、高校生の時から日本語を学び始め、韓国の短大で日本語を専攻として勉強し続けていました。そこで、貿易会社に入って5年間働いていました。その会社で日本語を活かして日本との架け橋として活躍しました。ところが、ある日、私の語学力の足りないところに気がきました。いつも同じ日本語を使っていたので、たまに仕事とは関係ないことに聞かれたら戸惑ってしまいました。しかも日本語が聞き取れない場合もたくさんありました。

それを感じ、本場の日本で日本語らしい日本語、正しい日本を身に付けたいと思い、2005年4月から1年間を目指して日本語学校に通い始めました。

1年間の日本語学校や生活を通じて感じたのは、日本語に関してはある程度、自惚ればかりの自分自身が、「目から鱗が落ちる」という現実になったということです。やはり、日本に来てよかったと毎日思いました。韓国で思っていた日本文化は相当違うんだと思い、日本人とも接

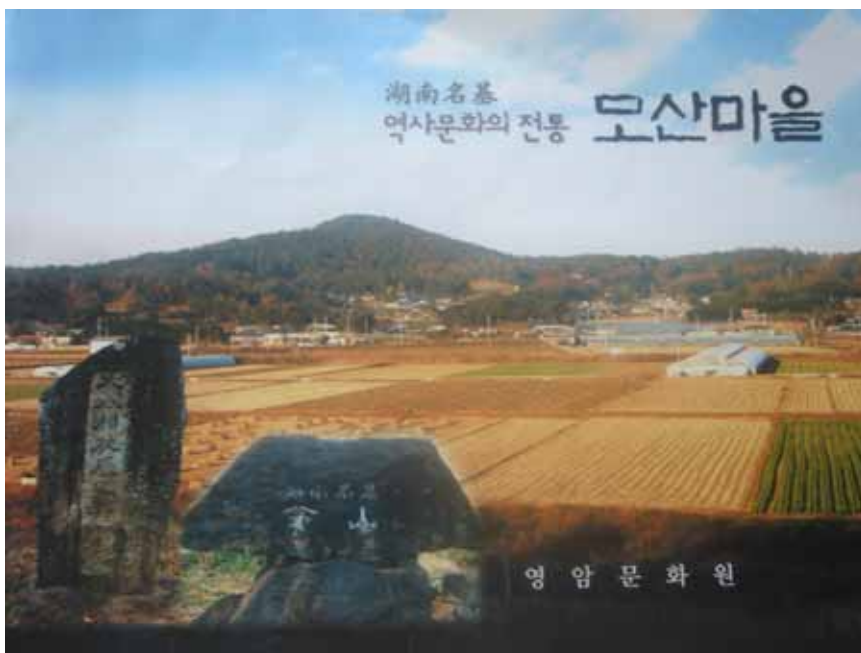
しながら自分を磨きました。それで、1年間は中途半端だと思って、八王子のある大学校に2006年4月、3年生に編入しました。編入して今年は4年生になっています。色々日本に魅力を感じて最近はこちら日本で就職をしたいと思って、就職活動もしています。今年で私は日本での生活が3年目になりますが、これからもずっと頑張りたいと思います。今まで育てくれた韓国の大切な両親や家族、友達、それから日本でめぐり会ったいろんな人達に支えられたことに忘れずに感謝しながらこの文章を終わらせていただきたいと思います。以上です。



母国の紹介

歴史文化の伝統（モサン町）

この町は、今から約6百年前、「太宗, 1367~1422」1405年右大臣が住んでいた町で、あんまりにも景色が優れていてこの町だと右大臣の子孫が住んでも適切なところだと気に入ってくれずずっと住んでいた歴史的に有名な町です。





詠八亭；高句麗末期～朝鮮初に造られたあずまやです。（全羅南道文化祭105号）
内部は部屋と壁なしで開放の正四面体です。床は井の字形に組んでいた板間です。
ここは、素朴な建物とは違って、歴史的に「学びの場所」としてたくさんの人材が輩出したところ
です。そして、町の人達が集まって会議などが行われた場所で、歴史的の価値が
大きいと呼ばれています。



憤悱齋(ブンボゼ) ; 1643年に造られたものです。この時期は国家の混乱があり、貧困な国民が多かったにも関わらず、 憤悱齋を造って学問に続けるように応援したそうです。

竹峯祠宇(ジユクボンサウ) ; 1665年のもので、 憤悱齋(ブンボゼ)と同じ目的で建立されました。

以上のように私は、歴史的に有名で素晴らしいところで生まれたことを感謝しています。この地域を国の誇りであり、私の誇りだと思えます。